

- 問1 タイ、インドネシア、マレーシアなど、東南アジアの国々が加盟している地域協力組織を何といいますか。この組織は地域の経済成長や平和、文化の発展を目的として活動しています。 (2026年 青森県公立入試 類似)
1. 欧州連合 (EU) 2. 東南アジア諸国連合 (ASEAN) 3. 環太平洋パートナーシップ (TPP) 4. アジア太平洋経済協力 (APEC)
- 問2 韓国の輸出に関する統計において、1980年には衣類 (16.3%) やせんい品 (12.2%) といった軽工業製品が上位を占めていましたが、2015年には機械類 (35.2%) や自動車 (12.7%)、船舶、精密機械などが主要な輸出項目となっています。このような輸出品目の変化から読み取れる、韓国の産業の歩みとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 石炭や鉄鉱石などの鉱産資源の輸出を増やし、資源依存型の経済へと転換した。 2. 豊富な労働力を背景に、衣類やせんい製品などの軽工業を国の主力産業として維持した。 3. 重化学工業を発展させ、機械類や自動車などの高度な工業製品へと産業の中心を移した。 4. ハイテク産業が衰退したため、石油製品や船舶などの伝統的な製造業に特化した。
- 問3 中国では降水量の違いによって主に行われる農業の種類が異なります。華北 (中国北部) から東北地方にかけての、降水量が比較的少なく冷涼な地域で行われている農業の特色として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 高知県公立入試 類似)
1. 内陸部の乾燥地帯において、わずかな水を利用して行われるオアシス農業 2. 南部の広東省などを中心に、温暖な気候を利用して行われる稲の二期作 3. 華北平原を中心に、比較的少ない降水量を活かした小麦などの畑作 4. 長江流域を中心として、温暖で湿潤な気候を活かした稲作
- 問4 中国南部の沿海部において、海外への窓口として経済特区に指定された地域や都市の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. シェンチェン (深セン)、チューハイ (珠海)、スワトウ (汕頭)、アモイ (廈門)、ハイナン (海南) 省 2. ホンコン (香港)、マカオ (門)、台湾 3. ペキン (北京)、シャンハイ (上海)、テンシン (天津)、チョンチン (重慶) 4. チベット自治区、シンチャンウイグル自治区、ナイモンゴル (内モンゴル) 自治区
- 問5 アラブ首長国連邦をはじめとする西アジアの産油国で見られる、石油に依存したモノカルチャー経済から脱却し、経済基盤を広げようとする動きに関連して、ドバイにおける取り組みの説明として正しいものはどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. 広大な砂漠を利用して大規模な露天掘りによる石炭採掘を開始し、重化学工業を中心とした第2次産業への転換を進めている。 2. 伝統的な真珠採集や遊牧を保護するため、海外からの投資を制限し、自給自足に近い第1次産業中心の社会に戻している。 3. 豊富な石油マネーを元手に、世界的なハブ空港の整備や高級リゾートの建設を推進し、第3次産業の比率を高めている。 4. 石油の採掘を段階的に廃止し、安価な労働力を生かした衣類や雑貨の製造などの軽工業を国の基幹産業に据えている。
- 問6 アラブ首長国連邦の都市ドバイが、石油の輸送路となる海峡付近という立地を活かして、大規模な港湾施設や空港を整備した主な理由として適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 周辺諸国から輸入した原油を精製し、付加価値を高めてから再びペルシャ湾内へ輸出するため 2. 海水を淡水化する施設を港湾内に集中させ、砂漠地帯の農業用水をすべてまかなうため 3. 石油資源の枯渇に備え、物流や観光などを中心とした石油に依存しない経済構造へ転換するため 4. 内陸部で採掘される鉄鉱石や石炭を輸出するための積み出し港を確保し、重化学工業を振興するため
- 問7 インドの人口統計において、15歳未満の若年層の割合が非常に高く、年齢が上がるにつれて男女ともに割合が減少していくことで、グラフにした際に裾野の広い三角形の形になるものを何と呼びますか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 等値線図 2. 人口ピラミッド 3. 階級区分図 4. 人口密度図
- 問8 中国の急速な経済発展に伴って発生している、社会的な課題や環境問題についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 白豪主義と呼ばれる政策の影響で海外からの労働力が不足しており、経済発展が停滞した結果、都市部での排気ガスによる環境負荷は年々減少傾向にある。 2. 工業化や自動車の普及により、PM2.5などの物質による深刻な大気汚染が発生しており、同時に、発展した沿岸部と開発が遅れた内陸部との間の経済格差が大きな問題となっている。 3. 公害対策が法律で厳格に運用されたため、大気汚染はすでに解消されており、現在は内陸部の重化学工業化を進めることで地域間の経済格差もほとんどなくなっている。 4. 経済特区における海外企業の活動が制限されたため、現在は内陸部の農業振興が経済の主軸となっており、環境問題よりも食料自給率の向上が最優先課題となっている。
- 問9 世界の自動車生産の推移に関する記述として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. インドは21世紀に入り急速に成長し、2015年以降は中国の生産台数を上回って世界最大となった。 2. 21世紀の自動車生産において、中国がアメリカ合衆国を生産台数で上回った事実はまだない。 3. 中国は2000年代後半にアメリカ合衆国の生産台数を追い抜き、その後も2500万台を超える規模まで成長した。 4. アメリカ合衆国の自動車生産台数は、2000年から現在に至るまで常に世界第1位を維持している。
- 問10 東南アジアの島国であるフィリピンでは、国民の約8割から9割がキリスト教 (カトリック) を信仰しており、周辺のイスラム教や仏教を信仰する国々とは異なる特徴を持っています。フィリピンでこのようにキリスト教が広く普及した歴史的な背景として、16世紀にこの地域を植民地として支配し、布教とともに貿易の拠点を置いた国はどこですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. エジプト 2. アメリカ合衆国 3. インド 4. スペイン
- 問11 東南アジアの国々の中で、かつてスペインによる植民地支配を受けた歴史的背景から、国民の多くがカトリックを中心とするキリスト教を信仰している国はどこか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. タイ 2. フィリピン 3. ベトナム 4. インドネシア
- 問12 東南アジアの湖周辺などで見られる、水上に家を建てる「水上集落」という住居形式について、その背景となる気候の特色を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 一年を通じて降水量が少なく、貴重な水源である湖水を汚さないように管理するため。 2. 大陸からの乾いた風が吹き込む乾季に、砂漠化による砂の浸入を防ぐため。 3. 石油開発の影響で沿岸部の土地が不足し、居住空間を湖の上に広げる必要があったため。 4. 海洋からの湿った季節風が吹き込む雨季に、湖や河川の水位が大幅に上昇するため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 東南アジア諸国連合（ASEAN）	10か国が加盟するこの組織は、1967年に設立されました。冷戦終結後、ベトナムやミャンマーなどが加わり、現在の規模になりました。東南アジア諸国連合は、域内の経済的な結びつきを強めるだけでなく、平和の維持や社会・文化面での協力も重要な目的としています。
問2	答え 3 重化学工業を発展させ、機械類や自動車などの高度な工業製品へと産業の中心を移した。	韓国では1980年代以降、経済の発展に伴って産業構造の高度化が進みました。かつては衣類などの労働集約的な軽工業が中心でしたが、政府の主導により、より高い技術力と設備を必要とする重化学工業へと重点が移りました。その結果、2015年の統計に見られるように、輸出額は1980年の約181億ドルから約5267億ドルへと激増し、機械類や自動車、精密機械などが輸出の大部分を占めるようになっていきます。
問3	答え 3 華北平原を中心に、比較的少ない降水量を活かした小麦などの畑作	中国では、一般に年降水量約1,000mmのライン（チンリン山脈・ホワイ川線）を境に、北と南で農業の形態が大きく分かれます。華北などの北部地域は南部と比較して降水量が少なく、広大な平原を利用した畑作による小麦の生産が非常に盛んです。一方、長江流域より南の地域は温暖で湿潤なため、古くから稲作が中心となっています。
問4	答え 1 シェンチェン（深セン）、チューハイ（珠海）、スフトウ（汕頭）、アモイ（廈門）、ハイナン（海南）省	経済特区は、地理的に東南アジアに近く、海外との交流や海上輸送に便利な中国南部の沿海部に集中して設置されました。具体的にはシェンチェン、チューハイ、スフトウ、アモイの4都市に、後に省全体が指定されたハイナン島を加えた地域が、初期の経済成長を牽引する拠点となりました。
問5	答え 3 豊富な石油マネーを元手に、世界的なハブ空港の整備や高級リゾートの建設を推進し、第3次産業の比率を高めている。	ドバイは、中東における物流や観光、金融の拠点となることを目指しています。石油だけに頼るのではなく、世界中からヒト・モノ・カネが集まる仕組みを作るため、観光業や航空産業、商業といった第3次産業に力を入れています。これは、特定の資源の輸出に頼る「モノカルチャー経済」の弱点を克服するための重要な戦略です。
問6	答え 3 石油資源の枯渇に備え、物流や観光などを中心とした石油に依存しない経済構造へ転換するため	ドバイは、将来的な石油資源の枯渇を見据え、「石油依存経済からの脱却」を国策として掲げています。ペルシャ湾の入り口という地理的優位性を利用して、世界的な物流のハブ（拠点）となる港湾を整備し、中継貿易や観光、金融などの産業を育成することで、持続可能な経済発展を目指しています。2018年の統計では、コンテナ取扱量が世界第10位に達するなど、その成果が表れています。
問7	答え 2 人口ピラミッド	男女別・年齢別の人口構成をグラフ化したものを人口ピラミッドと呼びます。インドのような発展途上国では、出生率が高いために若年層の割合が大きくなり、グラフの形が底辺の長い三角形（富士山型）になるのが特徴です。これに対し、先進国では少子高齢化の影響で、中央部が膨らんだ釣鐘型や、若年層が極端に少ないつぼ型へと変化する傾向があります。
問8	答え 2 工業化や自動車の普及により、PM2.5などの物質による深刻な大気汚染が発生しており、同時に、発展した沿岸部と開発が遅れた内陸部との間の経済格差が大きな問題となっている。	中国では石炭燃料の利用や自動車の急増により、微小粒子状物質（PM2.5）などによる「大気汚染」が深刻化し、周辺諸国への影響も懸念されています。また、経済発展の恩恵を強く受けた沿岸部の都市生活者と、依然として貧しい農村部が多い内陸部との間で「経済格差」が拡大しており、これを是正するために「西部大開発」などの政策が進められています。
問9	答え 3 中国は2000年代後半にアメリカ合衆国の生産台数を追い抜き、その後も2500万台を超える規模まで成長した。	21世紀の中国は「世界の工場」として急速な経済成長を遂げ、自動車産業においても大きな飛躍を見せました。2008年以降の統計においてアメリカ合衆国を追い抜いたことが示されており、2015年以降は他の国を大きく引き離す圧倒的な生産台数を記録しています。
問10	答え 4 スペイン	フィリピンは16世紀、世界周航の途上にあったマゼランの来航をきっかけにスペインの植民地となりました。当時のスペインはキリスト教の布教を植民地政策の柱の一つとしていたため、長い統治期間を通じてフィリピンにキリスト教が定着しました。なお、19世紀末からはアメリカ合衆国が統治しますが、宗教的な基礎を築いたのはスペインです。
問11	答え 2 フィリピン	16世紀後半からスペインの植民地支配を受けた影響で、国民の多くがカトリックを信仰するようになりました。インドネシアは世界最大のイスラム人口を抱える国であり、タイは植民地にならず独立を維持した仏教国であるため、宗教分布の形成過程が異なります。
問12	答え 4 海洋からの湿った季節風が吹き込む雨季に、湖や河川の水位が大幅に上昇するため。	東南アジアの気候は季節風（モンスーン）の影響を強く受けており、海洋から湿った空気が運ばれる雨季には、湖や河川の水位が劇的に上昇します。水上集落は、こうした水位の変化に対応し、浸水を避けながら水辺で生活を営むための合理的な工夫として形成されました。一方、大陸から乾いた風が吹く時期は乾季となります。